

2020年3月期 決算発表(参考資料)

1. 業績の推移

(単位:百万円、%)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	
	実績	実績	実績	実績	対前期増減率(%)
連結子会社	21社	21社	21社	19社	
営業収益	44,478	46,858	49,136	48,999	△ 0.3
営業利益	1,426	1,455	1,687	974	△ 42.3
経常利益	1,519	1,525	1,756	1,058	△ 39.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,224	986	969	3,118	221.7

営業収益は4期ぶりの減収
営業利益、経常利益は3期ぶりの減益、
当期純利益は過去最高

【過去最高実績】 (単位:百万円)

営業収益	2019年3月期	49,136
営業利益	2019年3月期	1,687
経常利益	2019年3月期	1,756
親会社株主に帰属する当期純利益	H4年3月期	1,801

2. 次期の業績予想

新型コロナウイルスの感染拡大による今後の影響度合いの算定が現段階においては、非常に困難であることから、開示しておりません。今後、業績への影響を慎重に見極め、業績予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

3. 経営成績等の概況

【2020年3月期の業績概要】

- ①トラックによる企業間輸送を主とする「**輸送サービス部門**」では、
- ・運賃改定や諸料金の収受に向けた営業活動と新規取引先の開拓に取り組んだ結果、一定の成果を残した。
 - ・天候不順の影響、営業日数の減少、さらには消費税増税による消費マインドの冷え込みや新型コロナウイルスの感染拡大の影響による社会経済活動の抑制と停滞もあり、特別積合せ貨物運送事業の輸送貨物量が前年を大きく下回り、減収となった。
- ②商品保管や物流加工を行う「**物流サービス部門**」では、
- ・(株)スリーエス物流において、菓子卸問屋様の保管と配送業務の受注増に向けた取り組みを行った。
 - ・(株)エスライン郡上において、移動ラック式定温管理倉庫を新築し、医薬部外品の保管業務を開始した。(2019年5月)
 - ・(株)エスラインギフにおいて、飲料保管用の自動ラック倉庫を建築し、入出庫及び保管業務を開始した。(2019年10月)
 - ・衣料品量販店や大手流通グループの専門店での販売不振及び新型コロナウイルス感染症の影響で加工業務が減少または停止となり、加工収入は減収となった。
- ③大型商品等の個人宅配や引越しを行う「**ホームサービス部門**」では、
- ・家電量販店の洗濯機・冷蔵庫といった白物家電の販売好調と料金改定に加えて、消費税増税前の駆け込み需要もあって配送及び設置業務が大幅に増加した。
 - ・引越しサービスにおいては、「スワロー引越便」のPR活動の効果や、これまでの実績の評価もあり、法人関係の引越し受注を順調に獲得できた結果、ホームサービス部門は増収となった。

この結果、営業収益は、489億99百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は9億74百万円(前年同期比42.3%減)、経常利益は10億58百万円(前年同期比39.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、(株)エスラインギフにおける固定資産の譲渡に伴う固定資産売却益を特別利益として計上したこともあり、31億18百万円(前年同期比221.7%増)となった。

【2021年3月期の取り組み】

- ①お客様に納得いただける、高品質で安定した輸送サービスを提供しながら、運賃改定と諸料金の収受等の料金交渉を継続する。
- ②通信型デジタルタコグラフのデータから、ドライバーの稼働状況や車両の運行状況を分析して、自社内の作業・運行効率を高めることにより、備車依存率の低下を図り、利益率を高める。
- ③中期経営計画の取り組みとしては、
- ・「輸送サービスの充実」では、中部地区をドミナントエリアとし、「配車センター」の開設によって、幅広く荷物を確保し、当社グループの車両を適切に配車し、収益の拡大と保有車両の稼働率アップによる利益改善に取り組む。同じく中部地区に「コンテナセンター」を開設し、名古屋港に入港するコンテナのデバンニング案件の集約を図る。
 - ・「物流サービスの拡大」では、本年10月に(株)スリーエス物流の新物流センターを稼働し、質の高い保管・配送サービスを行うことにより、物流サービスの事業拡大に取り組む。

4. 有形・無形固定資産の設備投資と減価償却費の状況

(単位:百万円、%)

	2020年3月期	
	実績	対前期増減率(%)
設備投資	3,761	△ 0.8
減価償却	1,768	5.8

※ 主な設備投資の状況(車両を除く)

【2020年3月期実績】

エスラインギフ 物流事業部飲料倉庫:11.7億円
エスライン郡上 定温管理倉庫:1.3億円

【2021年3月期予想】

(株)スリーエス物流において、本年10月に新物流センター稼働(今期投資額は約5.7億円)を予定していますが、それ以外の設備投資に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大による、業績への影響を慎重に見極めた上で、速やかに開示いたします。